

TOP > 研究室 > CRNアジア子ども学研究ネットワーク > コロナ禍での子どものウェルビーイングとレジリエンス【後編】—カギは"保護者の養育態度"と"園でのサポート"

いいね! 8

ポスト

Bl

研究室

Laboratory

コロナ禍での子どものウェルビーイングとレジリエンス【後編】—カギは"保護者の養育態度"と"園でのサポート"

著者： 小川 淳子（CRN研究員）

掲載日： 2022年11月11日掲載

カテゴリー： CRNアジア子ども学研究ネットワーク

関連キーワード： インドネシア, シンガポール, タイ, ハピネス, フィリピン, マレーシア, レジリエンス, 中国, 台湾, 小川 淳子, 新型コロナウイルス感染症, 日本

English

前編の振り返り

前編では、CRNで日本を含むアジア8か国*の5歳の子どもをもつ母親を対象に「子どもの生活に関するアジア8か国調査2021」を実施した背景に始まり、「ウェルビーイング（心身の良好な状態、幸福）」「レジリエンス（困難な状況に適応して回復する力）」といった調査の中核となる用語についてご紹介しました。

そのうえで、調査結果から、コロナ禍において8か国共通で子どものウェルビーイングにレジリエンスが関連していることが明らかになったことをお伝えしました。コロナ禍のような困難な状況で子どものウェルビーイングを実現するには、レジリエンスを育むことが重要な要素のひとつであることは間違いなさそうです。

それでは、レジリエンスの育成につながるのは、どのような要因なのでしょう。後編では、主に日本5歳のデータに絞り、分析結果をご紹介します。

*参加したアジア8か国：日本、中国、フィリピン、マレーシア、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ

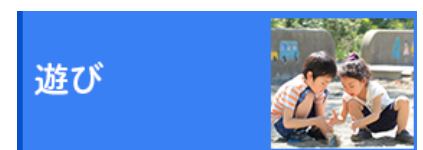
コロナ禍の日本で子どものレジリエンスの育成に関連する要因

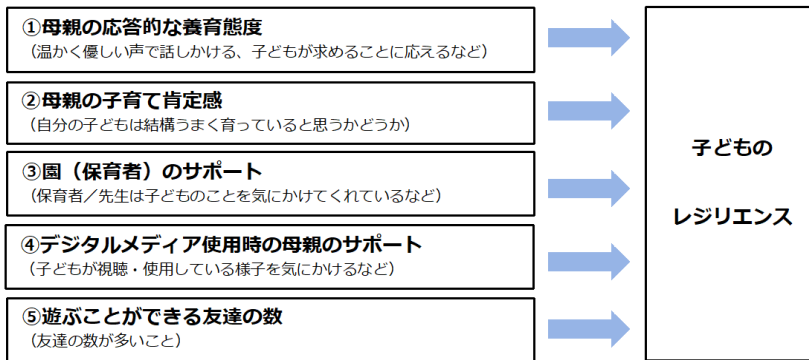
本調査では、先行研究やアジア8か国の共同研究者の課題意識などを参考に、母親の養育態度や意識、周囲の子育てリソースの状況（配偶者のサポート、家事育児分担）、園のサポート、デジタルメディアの子育て活用のあり方、子どもの日常生活や遊びなどが子どものレジリエンスの育成に関連するのではないかと仮説を立てて、調査項目を設定しました。それらの状況について問う、全部で150以上の項目からなる質問紙を設計し、母親から回答を収集しました。その結果、日本では①母親の応答的な養育態度、②母親の子育て肯定感、③園（保育者）のサポート、④デジタルメディア使用時の母親のサポート、⑤遊ぶことができる友達の数が、子どものレジリエンスに関連していることが明らかになりました（図1）。

■図1 【日本】子どものレジリエンスに関連する5項目

キーワード検索

Google 提供

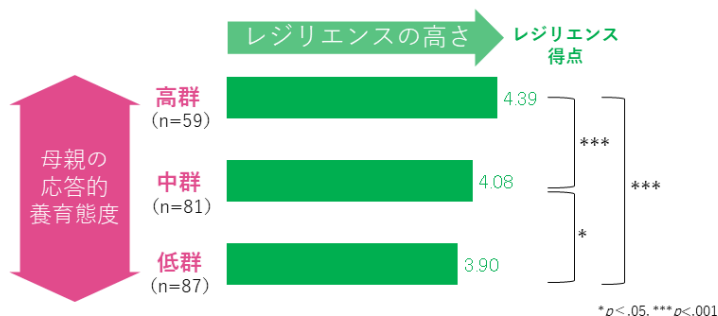




続いて上記①～⑤の各項目を高群・中群・低群に分けて群ごとに子どものレジリエンス得点を比較したところ、高群の方がレジリエンス得点が高いという結果が得られました（図2～6）。

■図2【日本5歳】①母親の応答的な養育態度と子どものレジリエンス得点

母親の応答的な養育態度度合いが高いほど、子どものレジリエンス得点は高い

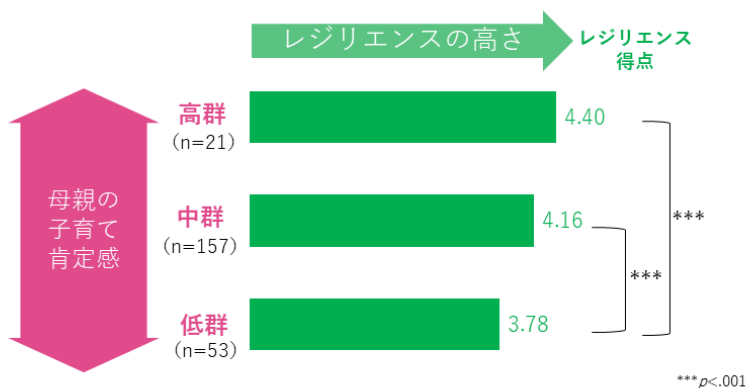


※**応答的な養育態度3群**：「温かく優しい声で話しかける」「スキンシップをとる」「子どもが求めることに応える」「何かうまくできたときに一緒に喜ぶ」「何かをやろうとしているときは手を出さずに最後まで見守る（危ないことは除く）」「やりたがることに取り組める環境を用意する」「興味が広がるような遊びや体験を用意する」の7項目を得点化して足しあげ、分布をもとになるべく均等に高群・中群・低群の3群に分割。

※**レジリエンス得点**：レジリエンスに関わる17項目（PMK-CYRM-R尺度を使用、「まったくあてはまらない」1点～「とてもあてはまる」5点）を合計して、項目数で割った数値（1～5点に分布）。

■図3【日本5歳】②母親の子育て肯定感と子どものレジリエンス得点

母親の子育て肯定感が高いほど、子どものレジリエンス得点は高い



※**子育て肯定感3群**：「自分の子どもは結構うまく育っていると思う」という1項目に対し、「1.とてもあてはまる」を高群、「2.まああてはまる」を中群、「3.あまりあてはまらない」および「4.まったくあてはまらない」を低群として3群に分割。

※**レジリエンス得点**：図2と同様。

ご意見・ご質問

CRNへのご意見・ご質問はこちらへお寄せください。

[ご意見・ご質問はこちら](#)

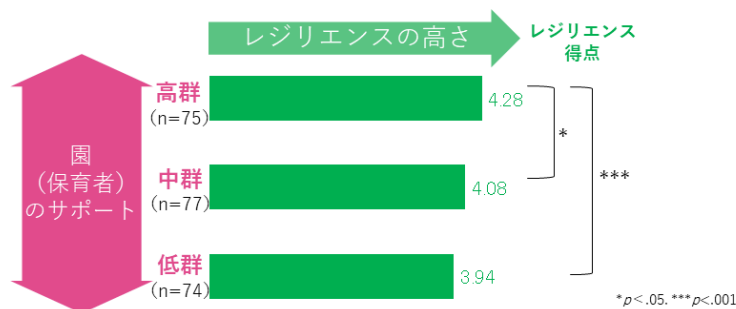
メルマガ登録

メールマガジン「CRN通信」を購読しませんか？子どもにまつわる耳よりな情報をお届けします。

[登録・変更はこちら](#)

■図4【日本5歳】③園（保育者）のサポートと子どものレジリエンス得点

園（保育者）のサポート度合いが高いほど、子どものレジリエンス得点は高い

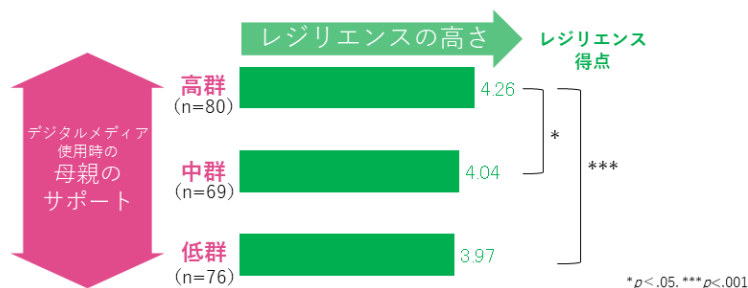


※保育者のサポート3群：「保育者／先生の子どもへの言葉かけや関わり方が温かい」「保育者／先生は子どもの気持ちを尊重している」「保育者／先生は子どものことを気にかけてくれている」「保育者／先生はあなた（母親）のことを気にかけてくれている」「子育てについて相談できる保育者／先生がいる」の5項目を得点化して足しあげ、高群・中群・低群の3群に分割。

※レジリエンス得点：図2と同様。

■図5【日本5歳】④デジタルメディア使用時の母親のサポートと子どものレジリエンス得点

母親のサポート度合いが高いほど、子どものレジリエンス得点は高い

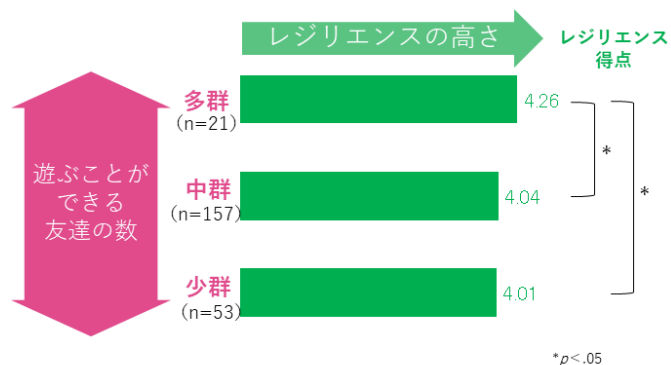


※母親サポート3群：「子どもが使用・視聴するものを親が選ぶ」「子どもが使用・視聴している様子を気にかける」「子どもが使用・視聴している内容に即して話しかける」「子どもと一緒に使用・視聴する」「使用・視聴時間を決めるよう声をかける」「知らないことが出てきた時に一緒に調べる」「子どもが難しいことに取り組めるよう支援する」の7項目を得点化して足しあげ、高群・中群・低群の3群に分割。

※レジリエンス得点：図2と同様。

■図6【日本5歳】⑤遊ぶことができる友達の数と子どものレジリエンス得点

遊ぶことができる友達の数が多いほど、子どものレジリエンス得点は高い



※遊ぶ友達の数3群：「お子様には遊ぶことができる友達は、どのくらいいますか？（1つ選択）」という1項目に対し、「4. 5人以上」を多群、「3. 3～4人」を中群、「2. 1～2人」および「1. いない（0人）」を少群として3群に分割。

※レジリエンス得点：図2と同様。

さらに、合成変数である①母親の応答的な養育態度、③園（保育者）のサポート、④デジタルメディア使用時の母親のサポートにつき、それぞれの変数を構成する単項目について詳細分析を行ったところ、特に下記の項目が子どものレジリエンスに関連していることが分かりました。

—①母親の応答的な養育態度の構成項目のうち、子どものレジリエンス育成に特に効果的な項目

- 温かく優しい声で話しかける
- スキンシップをとる
- 子どもが求めることに応える
- やりたがることに取り組める環境を用意する

—③園（保育者）のサポートの構成項目のうち、子どものレジリエンス育成に特に効果的な項目

- 保育者/先生は子どものことを気にかけてくれている
- 子育てについて相談できる保育者/先生がいる

—④デジタルメディア使用時の母親のサポートの構成項目のうち、子どものレジリエンス育成に特に効果的な項目

- 子どもが使用・視聴している様子を気にかける
- 子どもが難しいことに取り組めるよう支援する
- 使用・視聴時間を決めるよう声をかける
- 子どもが使用・視聴するものを親が選ぶ

まとめと考察

今回の調査では、コロナ禍での子どものウェルビーイングにレジリエンスが関連していることが明らかになりました。この結果は、対象としたアジア8か国のすべてで共通していました。**コロナ禍のような困難な状況で子どものウェルビーイングを実現するには、レジリエンスを育むことが重要だと言えます。**

そのレジリエンスの向上につながるのはどのような要因なのか分析したところ、日本では、①母親の応答的な養育態度、②母親の子育て肯定感、③園（保育者）のサポート、④デジタルメディア使用時の母親のサポート、⑤遊べる友達の数、が子どものレジリエンスに関連していました。**子どものレジリエンスを育むには、子どもにとってもっとも身近な存在である「家庭（保護者）」と「園（保育者）」の両輪でのサポートが重要であると言えます。**

また、これらが示す具体的な内容について、日本のデータを見たところ、家庭（保護者）の側面からは、母親の温かな働きかけや環境設定などの支援行動に加えて、親子の間で一定のルールを設けることが普段から子どもの適応力を高め、子どものレジリエンスの向上につながる可能性が示唆されました。

さらに、園（保育者）のサポートについても日本のデータを用いて分析した結果を見ると、保育者が一人ひとりの子どもの様子に目を配ることだけでなく、保護者の悩みに寄り添うことの重要性も浮かび上がりました。園（保育者）がサポートすることで保護者は安心して子どもに接することができ、このことが子どものレジリエンスの向上につながるのではないかと考えられます。

コロナ禍は3年目に入りましたが、子どもたち一人ひとりの健やかな成長発達のためには、身近にいる保護者や園（保育者）のサポートがカギとなります。本調査の結果が、保護者のみなさまや幼児教育・保育にかかわるみなさまに少しでも役立つことを願っています。

参考文献

- Office of Quality of Life Measures <https://www.kindl.org/english/information/>
- Resilience Research Centre <https://cymr.resilienceresearch.org/>

筆者プロフィール



小川 淳子（CRN 研究員）

チャイルド・リサーチ・ネット（CRN）研究員、ベネッセ教育総合研究所研究員。

2013年よりベネッセ教育総合研究所に所属し、CRNを運営。近年はアジア諸国の研究者からなるCRNA（Child Research Network Asia）を組織し、アジア8か国の研究者との国際共同研究を推進している。

関連キーワード： [インドネシア](#), [シンガポール](#), [タイ](#), [ハピネス](#), [フィリピン](#), [マレーシア](#), [レジリエンス](#), [中国](#), [台湾](#), [小川 淳子](#), [新型コロナウイルス感染症](#), [日本](#)

いいね！ 8

ポスト



この記事の関連記事

- ➡ [【インドネシア】インドネシアの母親の養育態度、育児／仕事への意識が子どものレジリエンスとハピネス（QOL）に及ぼす影響](#)
- ➡ [【中国】コロナ禍における子どもたちの「心理的レジリエンス」と「主観的ウェルビーイング」の現状と影響要因 --中国大陸に住む5歳児に関する調査のデータ分析](#)
- ➡ [【マレーシア】母親の養育態度および子育て意識と子どものレジリエンスとハピネス（QOL）との関連](#)

研究室新着記事

- ➡ [【CRNA国際共同研究】子どものレジリエンスを育む保育実践に関する調査2024 結果報告](#)
- ➡ [【インドネシア】子どものレジリエンスと社会情動的スキルに対するインドネシアの保育者の認識と取り組み](#)
- ➡ [【中国】中国の幼児教育における洞察：未就学児のレジリエンスと社会情動的スキルの育成](#)

調査データ

- ▶ 乳幼児
- ▶ 小中高生
- ▶ 国際調査

▶ More

研究論文

- ▶ 異文化理解
- ▶ 健康と発達
- ▶ 学校教育
- ▶ 子どもの権利

▶ More

海外の子育て

- ▶ インド
- ▶ カナダ
- ▶ タイ
- ▶ ドイツ（ベルリン）
- ▶ ニュージーランド
- ▶ ノルウェー
- ▶ フィンランド
- ▶ サウジアラビア ▶ More

CRNについて

- ▶ ごあいさつ
- ▶ CRN概要
- ▶ 活動履歴
- ▶ CRN刊行物

▶ More

チャイルド・リサーチ・ネット (CRN) は、[ベネッセ教育総合研究所](#)の支援のもと運営されています。

